

福島町議会 「現状」「2減」併記

諮問会議 答申案 議員歳費は増額

【福島】福島町議会議長の諮問機関「議会諮問会議」の第6回会合が20日、議会内で開かれ、議員定数や歳費について答申案をまとめた。定数については意見がまとまらなかったため、「維持」と2人削減の「10人」の両論を併記。また、議員歳費については増額とした。12月上旬に平野隆雄議長に答申する。

会合では、2011年9月に行われる予定の次期町議選以降に適用すべき議員定数、歳費を議論した。定数は「削減」と「維持」の両論を併記。削減の意見として「町の将来

を見据え、10人で切磋琢磨し、町民にアピールすることが大事」とした。一方、維持の意見を「地方分権改革によって議会の役割は重要になってくる。当面は維持し、人口5000人を割った時点であらためて考えるべき」とまとめた。

歳費については、現在、10人分の歳費で12人をまかっている現状を見直し、議員の活動日数を反映させた全国町村議会議長会検討方式を改良した算定方式が適当だと結論付けた。これにより、議員の歳費月額額は現行の13万1000

0円から17万4000円に増額。年間歳費総額は定数12人の場合、4132万3000円となる。

今後は12月に平野議長に答申した後、議運、全員協議会で議会側の方向性をまとめ、来年2月に住民説明会を開く予定。それらを踏まえ、議会側で結論を出し、6月の定例会で改正案を提出するとしている。

(松宮一郎)